

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪国際福祉専門学校
設置者名	学校法人 夕陽丘学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養課程	心理・医療事務科	夜・通信	1,490 時間	160 時間	
		夜・通信			
教育・社会福祉課程	介護福祉科	夜・通信	1,920 時間	160 時間	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて一覧表を公開している。 <a href="http://www.oiw.ac.jp/">http://www.oiw.ac.jp/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪国際福祉専門学校
設置者名	学校法人 夕陽丘学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。<http://www.oiw.ac.jp/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(株)ITセンター 代表	2019.4.1 ~ 2023.3.31	経営アドバイザー
非常勤	東野税理士事務所 副所長	2019.4.1 ~ 2023.3.31	税務アドバイザー
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪国際福祉専門学校
設置者名	学校法人 夕陽丘学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>設置している両学科に共通している目標は、“対人援助業務に携わる者”としての人格形成や人間力の構築・向上をめざし、支援を求めている利用者に寄り添える人材の育成が達成できるよう方針を定め、学習計画を作成している。</p> <p>[心理・医療事務科]</p> <p>「日本医療福祉実務教育協会」の認定を受け、卒業時に3つの医療事務が取得できるカリキュラムとしている。また、知識や技術の修得のみに留まらず、心理学も学んでいることで、利用者とのコミュニケーション時(情報収集)では、円滑に進めることができる。</p> <p>[介護福祉科]</p> <p>厚生労働省が規定している時間数を上回る学習量で、支援が求められているあらゆる場面に対応できる介護福祉士の養成に努めている。また、1年次後期より、介護福祉士国家試験に合格できるよう対策講座も設定している。</p>	
授業計画書の公表方法	HPに掲載している。 <a href="http://www.oiw.ac.jp/">http://www.oiw.ac.jp/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>教科の評価は各学科目ごとに100点満点で、60点以上を合格点とする。評価の割合は、試験(実技・レポート・提出物等を含む)評価70%、出席評価20%、平常(授業態度等)評価10%で行う。成績票には4段階で表し、『A・B・C・D』とする。「D(実習は5段階評価でE)」は不合格である。不合格と評価された科目については再試験(実習の場合は再実習)を受験することができる。</p> <p>前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を上記に記載の割合で数値化し、分布状況を把握し、管理している。</p> <p>但し、欠席時間数が2/3(実習のみ4/5)に満たない者は、履修認定及び認定試験を受けられない。進級にあつては、学業(実習)成績及び出席状況を確認し、進級認定会議を経て認定する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  各授業科目担当者から提出された前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を2.で記載の割合で数値化し、合計値を受講数で除した分布状況を把握し、管理している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>HPに掲載している。 <a href="http://www.oiw.ac.jp/">http://www.oiw.ac.jp/</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を確認し、卒業認定会議を経て認定する。  本校所定の課程を修了した者には、学習評価のうえ卒業証書を授与する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>HPに掲載している。 <a href="http://www.oiw.ac.jp/">http://www.oiw.ac.jp/</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪国際福祉専門学校
設置者名	学校法人 夕陽丘学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	HPに掲載している。 <a href="http://www.oiw.ac.jp/">http://www.oiw.ac.jp/</a>
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	心理・医療事務科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,860 単位時間/単位	1,470 単位時間 /単位	480 単位時間 /単位	80 単位時間 /単位		
			2,030 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		39人	0人	5人	19人	24人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） “対人援助業務に携わる者”としての人格形成や人間力の構築・向上をめざし、支援を求めている利用者に寄り添える人材の育成が達成できるよう方針を定め、学習計画を作成している。 「日本医療福祉実務教育協会」の認定を受け、卒業時に3つの医療事務が取得できるカリキュラムとしている。また、知識や技術の修得のみに留まらず、心理学も学んでいることで、利用者とのコミュニケーション時(情報収集)では、円滑に進めることができる。
成績評価の基準・方法
（概要） 各授業科目担当者から提出された前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を、試験(実技・レポート・提出物等を含む)評価70%、出席評価20%、平常(授業態度等)評価10%の割合で数値化し、合計値を受講数で除した分布状況を把握し、管理している。

卒業・進級の認定基準
(概要) 試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を確認し、進級・卒業認定会議を経て認定する。 本校所定の課程を修了した者には、学習評価のうえ卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) クラス担任制を導入している。学生生活が、円滑に過ごせるよう時期に応じ、個別面談を実施している。また、就職や進学について学生個々の状況把握にも努め、相談・助言を行っている。学習面・生活面で問題点のある学生に対しては、保護者との連携も密に行い、改善がはかれるようアドバイスをしている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	2人 (50%)	2人 (50%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 社会医療法人、医療法人、社会福祉法人等。			
(就職指導内容) 教員・進路指導担当者により、接遇マナー・一般常識・履歴書の書き方・作文・面接対策等の指導を行っている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 医療秘書実務士、診療情報管理実務士、医師事務作業補助実務士、医療秘書技能検定、医事コンピュータ技能検定、電子カルテ実技検定試験等。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	4人	18.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、健康上の問題		
(中退防止・中退者支援のための取組) メンタル面で問題を抱える学生に対しては、臨床心理士資格を有し、公立の不登校生徒援助施設でのスタッフとして実務経験もある専任教員によるカウンセリングを行っている。学業が不振な学生に対しては、専任講師が中心となり、非常勤講師の協力も得て、補講や補充授業を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		教育・社会福祉 専門課程	介護福祉科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		2,250 単位時間/単位	1,590 単位時間 /単位	270 単位時間 /単位	450 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,310 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		25人	0人	3人	13人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) “対人援助業務に携わる者”としての人格形成や人間力の構築・向上をめざし、支援を求めている利用者に寄り添える人材の育成が達成できるよう方針を定め、学習計画を作成している。 「日本医療福祉実務教育協会」の認定を受け、卒業時に3つの医療事務が取得できるカリキュラムとしている。また、知識や技術の修得のみに留まらず、心理学も学んでいることで、利用者とのコミュニケーション時(情報収集)では、円滑に進めることができる。
成績評価の基準・方法
(概要) 各授業科目担当者から提出された前期・後期での試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を、試験(実技・レポート・提出物等を含む)評価70%、出席評価20%、平常(授業態度等)評価10%の割合で数値化し、合計値を受講数で除した分布状況を把握し、管理している。
卒業・進級の認定基準
(概要) 試験成績(実技・レポート・提出物等を含む)、出席状況及び授業態度等の平常評価を確認し、進級・卒業認定会議を経て認定する。 本校所定の課程を修了した者には、学習評価のうえ卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) クラス担任制を導入している。学生生活が、円滑に過ごせるよう時期に応じ、個別面談を実施している。また、就職や進学について学生個々の状況把握にも努め、相談・助言を行っている。学習面・生活面で問題点のある学生に対しては、保護者との連携も密に行い、改善がはかれるようアドバイスをしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	1人 (14%)	6人 (86%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 社会医療法人、医療法人、社会福祉法人等。			
(就職指導内容) 教員・進路指導担当者により、接遇マナー・一般常識・履歴書の書き方・作文・面接対策等の指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士、初級障がい者スポーツ指導員、アロマコーディネーター等。			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	1人	4.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) メンタル面で問題を抱える学生に対しては、臨床心理士資格を有し、公立の不登校生徒援助施設でのスタッフとして実務経験もある専任教員によるカウンセリングを行っている。学業が不振な学生に対しては、専任講師が中心となり、非常勤講師の協力も得て、補講や補充授業を行っている。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
心理・ 医療事務科	100,000円	620,000円	280,000円	
介護福 祉科	100,000円	620,000円	370,000円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援（任意記載事項）				



b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) HPに掲載している。 <a href="http://www.oiw.ac.jp/">http://www.oiw.ac.jp/</a>		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 専修学校における学校評価ガイドラインに基づき、業界関係者、卒業生、保護者などの学校関係者で組織される「学校関係者評価委員会」を設置し、学校が行う自己点検評価の結果に対して外部関係者の評価や助言等を柔軟に取り入れることで、教育活動の改善を図るとともに、自己評価の客観性および透明性を確保しつつ、適正かつ健全な学校運営を目指します。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
2020年度から評価を確実に実施するために委員の選任を行います。		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に実施し、ホームページに掲載します。		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に実施し、ホームページに掲載します。 <a href="http://www.oiw.ac.jp/">http://www.oiw.ac.jp/</a>
---